



泉大津市市民活動支援センター

おづぷらざ

vol. 16

[発行巻] NPO法人いずみおおつ市民活動ネット [発行日]平成 31 年 3 月 15 日

文化祭で知る市民活動



日本舞踊親子教室の舞台発表

▼ 泉大津の文化活動を支える市民団体 ▲

10月から12月にかけて催される泉大津市の市民文化祭は市内最大の文化・芸術の祭典ですが、今回はその中でも12月にテクスピアホールで行われた文化協会の催しでのセンター登録団体の発表の数々をご紹介します。

▼ 日本舞踊で子どもに伝える「和」の心 ▲

12月2日の「日本舞踊・新舞踊の会」の舞台では文化庁補助事業で伝統文化を子どもたちに伝える「日本舞踊親子教室」の子どもたちが可愛らしい踊りを舞う姿に、会場から盛んな拍手が贈られていました。

また、教室の代表としてこの子どもたちを指導している竿下茂美さんは、第一部のトリを、その風格ある踊りで舞台を引き締め、みごとに大役を務められました。



舞台を支える自主事業協議会

この華やかな舞台を陰で支えているのは「泉大津市民自主事業協議会」の皆さんです。スムーズな舞台転換もこの団体の活躍があつてこそと知っていたきたいと思います。

この前日の茶華道展では「泉大津市茶華道連合会」による生け花の作品展や茶道お点前、和菓子作りの体験など、多彩な催し



茶華道連合会の生け花展示

があり、生け花のコーナーでは、豪快に、また華麗にと立派な作品が並ぶ中、幼稚園や保育所の園児による作品もあつて、来場した人たちの心をなごませてくれました。

また、泉大津市展の写真の部の展示では、「泉大津写真クラブ」のメンバーの作品が並び、クラブ会長の写真が市長賞に輝くなど、その実力をいかに発揮した作品が揃つていたと思います。



写真展にも多くの人が

▼ 文化祭で市民活動を もっと知ろう！ ▲

そのほかにも「ボランティア」のお題での川柳の発表と投句の人気投票など、文化祭はおづぷらざを利用しての団体の活動を知る貴重な機会です。ぜひご覧ください。

泉大津市音楽家協会
プレミアム
Premium
コンサート
Concert

泉大津市音楽家協会のコンサートが1月27日に泉大津市総合福祉センター向かいのイーゾホールで開催されました。

このコンサートは、泉大津市在住のプロ音楽家による演奏をお手頃な料金で楽しんでいただくことを目的に始められたもので、今回が9回目となります。

この日の出演者は、鍵盤ハーモニカトリオのMK2とヴォーカル・ピアノの吉田美雅さんにギター・ベースを加えたジャズトリオでした。

MK2のユニークで楽しい鍵盤ハーモニカと、明るくノリのよい吉田美雅トリオのトリオ同士の競演で、全く違うジャンルの音楽が聴けるといって、とても面白いプログラム構成でした。

次回は6月にコンサートを予定しているということなので、今から楽しみです。



鍵盤ハーモニカトリオ MK2



トリオ演奏
吉田 美雅・光岡 尚紀・野江 直樹

なるほど そうか!
「伝わる」**デザイン講座**



皆さんは、ポスターとチラシのデザインの違いがわかりますか？

A4サイズでチラシを作ったら、それをA3サイズに拡大してポスターにするというパターンで済ませていることが多いのではないのでしょうか？

ポスターとチラシの違いを知って、ひと手間かければ、格段に人の目を引いて人を立ち止まらせるような効果的な印刷物を作ることができます。

そこで、2月17日にわかりやすいことで定評のあるアポットデザインオフィス鳥羽博司氏を講師として「なるほど そうか！ 伝わるポスター・チラシの作り方」講座を開催し、ポスターとチラシのデザイン違いとポイントを学びました。

このデザイン講座の人気の秘密は、作例を多く示して、なぜこのポスターは目立つのに、こちらはダメなのかなど、ポイントを押さ



講師の鳥羽氏

えて具体的に説明し、デザインに隠されたちよつとしたプロのコツまで教えてくれることにあります。

今回もほぼ定員いっぱい19名の参加者があり、どの団体も活動報告やイベント予告などの情報発信に力を入れていることがよくわかりました。

講座では、2色でデザインされた例を示しながら「伝えたいことは多いと思うが、そこをぐっと抑えて、色数も文字も減らした」「引き算のデザイン」が実は効果的なことも多い」という説明がされたときは、参加者一同大いに納得しました。



わかりやすいと人気の講座です

その後も作例について、「色づかいは秀逸だが、この部分だけは惜しい!」、「すっきりして好印象だが、文字の色づかいが残念」など、プロならではの指摘に感心することしきり。

参加した人からは、「今まで何も意識せずに作ってきた」、「自分が作ってきたものが、なぜパツとしないのかよく分かった」などの声がかつた。それぞれに新しい気づきがあり、デザインの知識と関心がより深まったタイトルどおりの講座でした。

おづぶらさで講座開催
めいせ! 絵本のスペシャリスト



▼ 絵本の楽しさを伝えるには技術も必要です ▲

絵本の会ばっかばかりが、11月から1月にかけて絵本専門士の川畑明美氏を講師に迎え、「めいせ! 絵本のスペシャリスト」と題して3回の連続講座を開きました。

この講座は、3回ともテクスピア大阪の会議室で開催される予定でしたが、第2回の会場予約ができなかったため、相談を受けたおづぶらさが講座会場を提供したところ、講師から「次回もここで開催したい」との申し出があり、第3回の講座もおづぶらさで開催することになったもので、登録団体によるおづぶらさでの初めての講座開催利用となりました。



講師の川畑氏

開催両日とも、掲載写真のとおり盛況で、絵本の魅力に始まり、持ち方やめくり方などの基本から、場面転換と口調など、ひと味違う読み聞かせのための技



この事業は「いずみおつがんぼろう基金」を活用しています

術やおすすりめ絵本の紹介なども盛り込まれた充実の内容で、最終日には「あなたが読み聞かせをするなら絵本をどの順番で読みますか?」という講師の問いに、参加者がグループで討論の結果を発表するなど、参加者の積極性も印象的な講座でした。

▼ 講座にも使えます! ▲

このように、おづぶらさは30名程度の小規模な講座や活動発表にもご利用いただけます。

講習会などの会場に困りのときは、おづぶらさに一度ご相談ください。



この順番で読みま〜す

お知らせ

井戸端会議が変わります

センターではこれまで平成30年1月の第15回会議から31年1月の第19回会議まで5回にわたり、井戸端会議のありかたや参加しやすい曜日・時間帯などについてご意見をいただけてきました。

これらのご意見をもとに運営方法を見直し、次年度から次の要領で新たに井戸端会議をスタートいたします。これまで以上のご参加とご協力をお願いいたします。

1. 会議当日の司会と記録は参加者のうちから自選または互選により行う自主運営とします
2. 開催の各回に話し合いのテーマを設けます
3. 開催回数は年4回、日時は土曜日の午後2時から4時とし、会議開催ごとの郵送案内は廃止します。年間の開催スケジュールとテーマは下記のとおりとなります。ぜひ、ご予約にお加えください。

2019年度 井戸端会議開催予定 (いずれも土曜日 時間は午後2時から4時)

開催日	テーマと内容
4月20日	●市民活動団体の練習・発表の場について 公共施設の廃止に伴い、今後の練習・発表の場をどうするかや施設跡地の利用などについて語り合しましょう
7月20日	●自治会が考える災害対応のありかたについて 台風被害への対応経験をもとに、自治会独自の防災対策や災害に強いまちづくりについて語り合しましょう
10月19日	●障がい者・高齢者福祉活動のこれからについて 福祉活動の現状や問題点、活動の後継者育成などの問題について語り合しましょう
2020年 1月18日	●「子どもの今」と地域支援について 子どもの貧困やネット依存などの新たな社会的課題と地域からの子ども支援について語り合しましょう

おづぶらざフェスタ開催!



テクスピア大阪で第4回おづぶらざフェスタを開催します。市民活動団体が一堂に集まるこの絶好の機会に、ぜひ皆さまお誘いあわせのうえご来場ください。※写真は昨年の様子です

◆パネル展 織編館ギャラリー

3月28日(木)～4月2日(火) 午前10時～午後5時
※ただし初日は午後1時から、最終日は午後3時まで

◆ステージ発表・体験コーナー 小ホール

3月31日(日) 午前10時～午後5時

活動情報をお寄せください

イベントの告知や会員募集など団体の活動をこの支援センターニュース「おづぶらざ」やセンターのブログで発信しませんか?

活動を紹介する機会のひとつとして、お気軽にセンターに情報をお寄せください。



[開館日] 木曜日～火曜日 午前9時30分～午後5時15分

[閉館日] 水曜日・祝日・年末年始

〒595-0025 泉大津市旭町22番45号 テクスピア大阪5階

[TEL] 0725(24)9016

[FAX] 0725(24)9017

E-mail oduplaza@outlook.jp

ホームページ <http://www.city.izumiotsu.lg.jp/oduplaza/>

泉大津市市民活動支援センター
おづぶらざ